

品目分類：果樹，技術分類：栽培技術

ビワ「なつたより」の収穫適期となる果皮色の目安		情報分類	普及情報
〔要約〕収穫始期，盛期および終期における果皮色と果実品質との関係から，果皮色 a * 値 8 が収穫適期の目安となる。			
果樹部栽培研究室		連絡先	0994-32-0179
普及対象地域等	「なつたより」生産者	普及見込面積等	20戸

〔背景・ねらい〕

ビワ「なつたより」は既存品種に比べて，果実重が大きく，果肉が柔らかく，食味が優れる品種であるが，収穫適期の果皮色については明らかにされていない。そこで，果皮色と果実品質との関係から，収穫に適した果皮色を明らかにする。

〔成果の内容・特徴〕

- 1 着色が進むほど果肉硬度は低下し，いずれの収穫時期でも果皮色 a * 値 8 以上の果実の果肉硬度は400 g 程度である（図 1， 4）。
- 2 着色が進むほど糖度は増加し，糖度が11を超えるのは，収穫始期（5月12日）および収穫終期（5月26日）には果皮色 a * 値 8 以上，収穫盛期（5月19日）には果皮色 a * 値 10 以上である（図 2， 4）。
- 3 着色が進むほどリンゴ酸含量は減少し，いずれの収穫時期でも果皮色 a * 値 8 以上の果実ではリンゴ酸含量は0.2%を下回る（図 3， 4）。
- 4 果皮色と果肉硬度，糖度およびリンゴ酸含量との関係から，いずれの収穫時期でも果皮色 a * 値 8 が「なつたより」の収穫適期の目安となる。果皮色 a * 値 8 は，日本園芸植物標準色票（農林水産省編）では1905の明黄橙色にほぼ相当する。

〔成果の活用面・留意点〕

- 1 収穫始期には糖度が低い果実やリンゴ酸含量が高い果実が出荷される場合があり，また降雨が続くような年には糖度が低い果実があるため，目安となる果皮色で収穫した上で，食味により判断する。
- 2 収穫盛期以降には，果実が過熟となり，しなび果や落果が発生しやすいので，適期収穫を心がける。

[具体的なデータ]

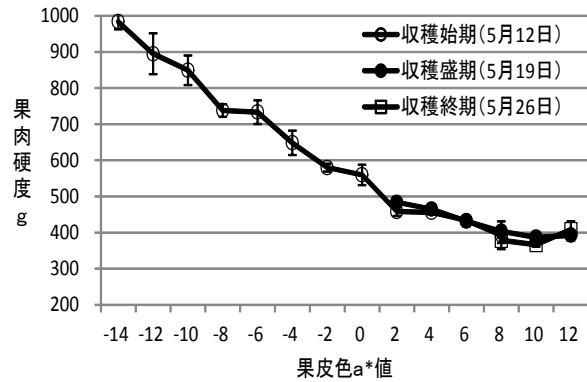


図1 ビワ「なつたより」の収穫時期別の果皮色a*値と果肉硬度との関係

- 注) 1. 平成26年3月3日に果房当たり果実数3個に摘果し、袋掛け(クロT37, 江見製袋)した。
 2. 収穫始期(5月12日), 盛期(5月19日)および終期(5月26日)の3回, 無作為にそれぞれ30果房, 30果房および20果房を収穫し, 品質調査した。
 3. 果皮色a*値: 色彩色差計(ミノルタ, CR-300)で赤道部2か所を測定
 4. 果肉硬度: ユニバーサル硬度計(直径5mm円筒針頭)で赤道部3か所を測定
 5. 各プロット: n=2~24の平均値±標準誤差

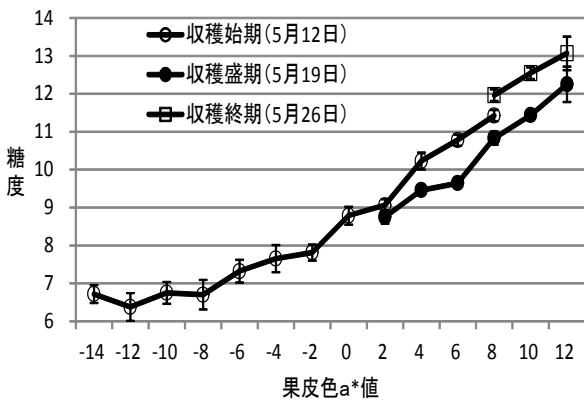


図2 ビワ「なつたより」の収穫時期別の果皮色a*値と糖度との関係

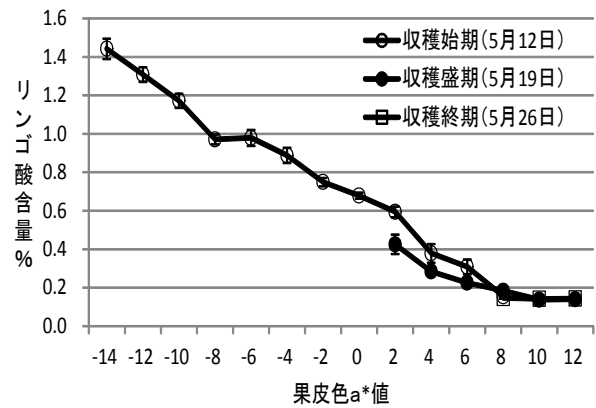
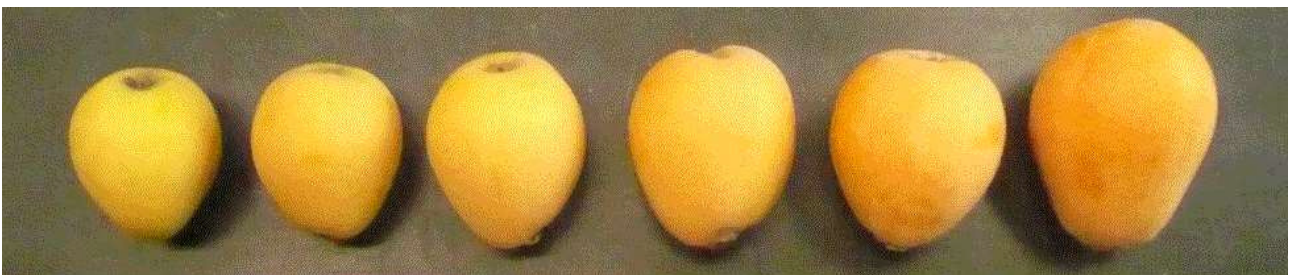


図3 ビワ「なつたより」の収穫時期別の果皮色a*値とリンゴ酸含量との関係



a*値 0~ 2~ 4~ 6~ 8~ 10~

図4 ビワ「なつたより」の着色状況

[その他]

研究課題名: 鹿児島県に適したビワの育種・選定

予算区分: 公募型

研究期間: 平成27年度(平成25~26年度)

発表論文等: 平成27年度 農業開発総合センター果樹部試験成績書